



上里町

赤十字奉仕団だより

第7号
令和3年2月26日

上里町赤十字奉仕団
委員長 齊藤よ志子

赤十字奉仕団員の信条

- 一. すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一. 常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一. 身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

「思いのまま」

上里町赤十字奉仕団委員長 齊藤よ志子



皆様、こんにちは。

コロナ禍の下、いかがおすごしでしょうか。

当たり前のが出来なくなる世の中が来るなんて考えてもみませんでした。

令和二年度の奉仕団の活動は、新型コロナウイルス感染症の出現により、殆どの事業が中止せざるを得ない状態になりました。顔の見えない会議、資料送付だけの総会に始まり、全団員が集まる行事は一度も出来ないまま、年度が終了することになりそうです。なんと味気ない空虚な一年だったのでしょうか。役員会議の際に出来た顔合わせ、研修が心和むひとときだったように思われます。

この異常事態の中、私たち奉仕団が出来るとは、今まで研修や訓練で培ってきた人との絆を大切に、思いやり、優しさの心をもって、みんなで考えて行動出来たらいいと思います。

コロナとの戦いは長期戦になるかもしれませんね。

負のスパイラルを断ち切って乗り越えていくために、それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって、赤十字の“人間を救うのは、人間だ”の精神で、助け合っていきたいですね。

委員長として長いこと皆様のご支援ご協力を賜り活動してまいりましたが、この度、任期満了になり交代させていただくこととなります。思い起こせば、猛暑の中での防災フェスティバル、神保原駅周辺の清掃、又、公開講座や視察研修、楽しかった新年会等、皆様の笑顔が思い出され、感謝の気持ちでいっぱいです。

新年度に向け、世の中が少しでも明るくなるよう、コロナの収束、ワクチンの普及が待たれます。皆様と笑顔でお会い出来る日が一日も早く来ることを祈っております。

団員募集

赤十字奉仕団は、日本赤十字事業を支えながら活動をしているボランティア団体です。

現在、一緒に活動して下さる団員を募集しています。
老若男女問いません！

「できる時にできる事を」が私たちのモットーです♡

連絡先▶上里町社会福祉協議会(日赤事務局) ☎33-4232



赤十字奉仕団とは

赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したいという思いを持った人たちによって市区町村ごとに組織されたボランティアグループです。

上里町の赤十字奉仕団は、神保原日赤奉仕団(昭和25年)、賀美日赤奉仕団(昭和46年)、七本木日赤奉仕団(昭和46年)、長幡日赤奉仕団(昭和57年)の順で設立され、各地区の4奉仕団が平成16年度に統合し、上里町赤十字奉仕団が新たにスタートし、高齢者支援や地域防災など、地域の強みを生かしたボランティア活動を行っています。現在の会員数は、賀美分団12名、長幡分団4名、七本木分団38名、神保原分団59名、合計113名。(令和2.5月現在)

主な活動は、日赤活動資金募集の協力、日赤埼玉県支部の各種研修参加、「救急法」等の短期講習会の実施、防災フェスティバル(炊き出し訓練の実施)、県外視察研修、神保原駅周辺の清掃、神保原駅の座布団整理、福祉施設納涼祭に協力、町民体育祭奉仕活動、町事業・社協事業に協力、海外たすけあい募金に協力、奉仕団だより発行 等

受賞おめでとうございます。

(敬称略・順不同・カッコ内は所属分団)

日本赤十字社有功章等被表彰者

奉仕団員等金柁感謝状

高橋 裕子 (七本木分団)

奉仕団員等金柁感謝状

高橋 えつ子 (七本木分団)

非常持ち出し品 準備できていますか？

下のチェックリストから、自分や家族の状況に応じて必要なものを選び、リュックサックなどにまとめておきましょう！



貴重品 <input type="checkbox"/> 現金(公衆電話用に小銭を含む) <input type="checkbox"/> 家や車の予備鍵 <input type="checkbox"/> 預金通帳(口座番号などのメモ) <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証	便利品など <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> 笛やブザー <input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> マッチ・ライター <input type="checkbox"/> 給水袋 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> レジャーシート <input type="checkbox"/> 簡易トイレ	乳児・子どもがいる家庭 <input type="checkbox"/> 粉ミルク (温めるためにカセットコンロ) <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> おやつ <input type="checkbox"/> 子ども用歯ブラシ	今日からできる ローリングストックのススメ 買える 保存可能な食品を買います 普段の生活で利用する食品を 備蓄しましょう 日常で使う 古いものから順に使っていきます 買ひ足す 使ったら、使った分と同じ量を 購入します
旅行用必需品 <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器含む) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池含む) <input type="checkbox"/> 家族の写真(はぐれなどの確認用) <input type="checkbox"/> 緊急時の家族、親戚、 知人の連絡先 <input type="checkbox"/> 広域避難地図 <input type="checkbox"/> 筆記用具	災害・健康のためのもの <input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 衣類・下着 <input type="checkbox"/> タオル・洗面用具 <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> トイレトペーパー	高齢者がいる家庭 <input type="checkbox"/> 母子手帳 <input type="checkbox"/> 診察券 <input type="checkbox"/> 分娩準備品 (出産が近い場合) <input type="checkbox"/> おむつなどの赤ちゃん用品 <input type="checkbox"/> ナフキン <input type="checkbox"/> 清浄綿	

●コロナ禍の今
プラスしたいもの

- 多めのマスク
- アルコール消毒液
- 体温計

大規模災害では、1週間分程度の備蓄が望ましいとされています。救援物資の到着まで最低3日分は準備しましょう！
 水は、人間1人が1日に必要な量は3リットル。ペットボトルは賞味期限が2年近くあるので保存に便利。食料は最低3日分(9食)以上は用意しましょう。保存期間が長く、火を通さなくても「そのまま食べられるもの」が便利です。

出典：日本赤十字社埼玉県支部 地震減災BOOK

赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社の活動は、皆さまから寄せられる会費や寄付金によって支えられています。